

# 【子どもが進化する】

## ～データを根拠に自分の考えを述べる活動～

さいたま市立日進小学校 黒須 直之

子ども同士の「意見の伝え合いをより活発にしたい」という先生方へ

今回紹介する実践は、「子どもに身近な事柄について、データを活用して考えを述べる」ということを経験してもらうために行ったものです。第6学年の算数科の実践になります。

子どもたちは、経験ベースで物事を考えたり、話したりすることが多いです。それは、とても素敵なことだと思います。ですが、それに加えて、データを根拠に考えを述べるができるようになったら、更に子どもたちは意見を伝え合うことがもっと楽しくなるのではないのでしょうか。

実際に、繰り返しデータを根拠にして話し合う機会を設けてみると意見の伝え合いの様子がどんどん変わっていききました。また、友達と協働しながら、資料を作ったり、意見をまとめたりすることで、学級の活気も出てきます。他教科や他学年でも実施可能な取組ですので、ぜひ、本実践をアレンジして試してみてください。

### 実践の概要

本実践の主な活動は、「小学校6年生にスマートフォンをもたせること」について賛成か反対かを数名の班ごとに分かれて、資料を作り、話し合うというものです。

立場決め→役割分担→資料作り→発表という流れで学習が進んでいきます。【授業の詳細は、学習指導案をご覧ください。】

子どもたちは、パワーポイントの協働編集を用いながら、インターネットから必要なデータを探して資料を作成しました。班で協働しながら、データを集めたり、分析したりしたため、自分の力を生かすことができた振り返った子が多くみられました。

子どもたちは、活動を通して、データの出典を明らかにすることの必要性を感じたり、資料を選ぶ際に相手意識をもつことの大切さを実感したりできたようです。

また、実践を行ってから、他の活動でも学んだことを活用していました。実践をきっかけに、「子どもたちの活動が進化した」と感じます。

### 活動の様子



他学年で応用する場合は…

- ・資料作成のテンプレートを用意する。
- ・引用するデータを教員が準備する。
- ・準備の時間を長めに取る。

といったアレンジを行うとこうした活動がかなり取り入れやすくなります。

## 「データを根拠に自分の達の考えを述べる活動」の実施の仕方

- ステップ1 どんなデータが必要か話し合う
- ステップ2 データを探す
- ステップ3 データをもとに考えをまとめる
- ステップ4 作成した資料を確認する

# 【4ステップ】

### ステップ1 どんなデータが必要か話し合う

まず、自分達の主張に必要なデータはどのようなものかを考えます。どんなデータが必要かある程度の検討がついたら、簡単に分担をしてステップ2に進みます。



### ステップ2 データを探す

データを探していると思う様に見つからなかったり、思わぬ発見があったりします。その際は、グループで状況を共有して活動の修正をしていくようにします。



### ステップ3 データをもとに考えをまとめる

考えをまとめる際は、データを根拠に主張するようにします。また、相手意識をもち、異なる立場や逆の考えからの意見を想定しながら行うとより良くまとめられます。



### ステップ4 作成した資料を確認する

大体の資料ができたなら、修正点を探すためにスライドショーを使って確認をしてみます。すると、「もっとこうしたほうがいい」という改善案が見えてきます。修正して完成です。

## 指導する時のポイント

### ・授業の目的を忘れない

発表することや資料の作成に夢中になると授業の目的を忘れそうになります。**授業の目的【今回ならデータの活用】を果たすための活動として位置付けることが大切です。**目的を変えれば、算数科の折れ線グラフや円グラフの学習、社会科の農業・水産業・工業など他学年や他教科の学習でも、本実践の活動を応用することができると思います。

### ・ファシリテートに関する声掛けを積極的に行う

活動の調整をしたり、意見をまとめたりとグループで話し合う場面が常にあります。そのため、目的に向かって話し合っているようにフォローすることがとても重要です。

### ・時間を決めて作業をする

調べて、まとめてと活動するとかなりの時間がかかります。**タイムリミットを設けて、その中でできる限りのことをすることが日常の活動に繋げていくためのポイントです。**